

議事録名：2024年度 第4回 運営推進会議			
日時	2024年 11月19日（火）13：30～14：30	議事進行	11月19日
場所	小規模多機能型居宅介護 令和の郷 2階 リビング	池野	書記：池野
出席者	<input type="checkbox"/> 池野（令和の郷 管理者兼計画作成担当者） <input checked="" type="checkbox"/> 中野（開成町役場 福祉介護課） <input type="checkbox"/> 茅野（開成町地域包括支援センター） <input type="checkbox"/> 三橋（上島自治会 自治会長） <input type="checkbox"/> 諸星（上島地区 児童民生委員） <input type="checkbox"/> 木村（上島地区 児童民生委員） <input type="checkbox"/> 茶谷（令和の郷 介護職員（身体拘束廃止委員、事業所のサービス自己評価担当）） <input type="checkbox"/> 長田（小規模多機能型居宅介護 すいふよう 計画作成担当者） 以上7名（敬称は省略させていただきました。）		
資料	2024年度 第4回運営推進会議次第、2024年9月・10月度運営状況報告書 以上当日配布		
議題及び議事内容			
<p>次第に従い議事進行致しました。</p> <p>1. 開会あいさつ（池野）</p> <p>本日は、寒い中、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今月も町役場の中野様からは、欠席の連絡をいただいております。また、ご利用者様、ご利用者ご家族様からも出席の連絡なく、コメント欄にも運営推進会議で取り上げる必要がある案件についてはありませんでした。数名の方より日頃のサービス提供についての感謝の言葉をいただいております。本日は、事業所の職員1名も参加させていただきます。</p> <p>2. 運営状況報告</p> <p>管理者の池野より、当日配布の「小規模多機能型居宅介護 令和の郷 2024年9月・10月度 運営状況報告書」の読み合わせによる報告を行いました。</p> <p>利用者状況について、9月後半から現在に至るまで、29名の満員状態となっております。目標としている登録者数25名以上を継続出来ております。10月は、延べ利用者数30名となっておりますが、月途中での新規、終結があった関係で30名となっております。ただ、29名の満員状態ではありますが、平均介護度が1.84で非常に低い状態が続いております。運営上は、平均介護度2.0以上を確保したいのですが、平均介護度を意図的にコントロールすることはできないため、運営は厳しい状況です。適宜、ご利用者様の心身状態の変化に合わせて区分変更申請を行っていますが、介護度が悪化する方は少なく、改善される方が多いです。介護度が改善される方が多いということは、非常に良いケアができている証であり、とても良いことではありますが、運営上は要介護度が下がれば減収となる為ジレンマです。実際に要介護4で、3月に東海大学病院から退院され在宅復帰ができるかと</p>			

うかで泊り利用され、入所も検討していた方が、在宅復帰され、入所の希望が無くなった為、区分変更申請を行ったところ、要介護1の認定になったというケースもありました。

利用者数の増加に伴い、提供サービス数も増加しています。特に訪問件数が700を超えてきています。職員の確保が難しく、滞留者数を増やせず、「通い」の代わりに「訪問」で対応しているため、訪問数がとても多い状況となっています。

職員については、10月から法人内の別の事業所から応援で新しい職員が見つかるまでの間、正規職員1名の異動をいただいております。以前から「通い」利用の追加の希望があった方の「通い」利用を増やすことができました。現在、非常勤職員3名の募集を行っております。何名の方が見学等にいられていますが、決まらない状況です。本日の参加の皆さんからも是非、良い方があればご紹介いただけると助かります。

研修状況について、9月は「身体拘束の排除・高齢者虐待防止」、10月は「認知症ケア」の研修を実施しました。「身体拘束の排除・高齢者虐待防止」については、今年度から特に厳格化されている研修となっており、今年度については、2回予定しているうちの1回目になります。両研修とも現場の担当職員が資料作成、講師を行い、実施しております。実施内容については、運営状況報告書に記載の通りです。

活動状況・利用者の状況についても運営状況報告書に記載の通りです。

また、活動については、画像、映像などをInstagramにてアップしていますので、ぜひそちらをフォローして確認していただくことをお勧めします。おかげさまで、フォロワー数も600を超えるところまで来ています。

ヒヤリハット・事故・苦情報告は、10月に2件ありました。

「泊り」利用者の明け方の転倒事故（整形外科受診の為、開成町に介護事故報告書提出済み）と訪問忘れの事故です。詳細については、運営状況報告書に記載の通りです。転倒事故については、通院はしたものの骨折などなく大事には至らず、経過観察にて変化なく過ごされています。訪問忘れについては、日ごろの慣れによるものでしたが、基本事項の確認と徹底を行い、改善されています。

3. その他

・各委員会報告

身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会

今年度から厳格化され、決められたルールに基づき実施していないと減算対象となるため、より確実に実施している委員会です。今年度は既に決められた回数以上の委員会を実施し、強化月間などを行い、現場職員と一緒に実施しています。現在は、「できる能力を奪わない。」ことを実施中です。職員が介助してしまえば時間を

かけずにできてしまう事でも、あえて時間がかかっても自身で行うよう声掛けをしています。特に入浴時の洗身や更衣など時間がかかっても自身で行うことを促しています。

また、10月には、在宅介護部門の他の事業所とも合同で委員会を行っています。今年度は、1回のみでしたが、来年度は2回を予定しています。

事業所の自己評価

前回の運営推進会議で前年の報告を行いました。今年度の事業所の自己評価を10月から実施しています。また、終了次第、運営推進会議で報告します。

SNS 関係

現在 Instagram を使用して行っています。フォロワー数も 600 を超えました。今後は、Facebook や X の活用も検討しています。職員募集などの案内も掲載しています。

・行事、ボランティア関係

今後の行事予定としては、12月のクリスマスに三平保育室との合同や吉田島高校との交流も検討しています。1月には、吉田神社への初詣なども検討しています。年間行事計画に基づき実施しています。

ボランティアさんについてもさまざまな方が来られるようになりました。現場の職員さん達が探し連絡をとり繋がってきています。

・吉田島高校、三平保育園との交流について

吉田島高校との交流が始まっています。10月には、認知症サポーター養成講座の実施。芋ほりのへの利用者の参加、ハロウィンイベントの時にはボランティアとして2名に生徒さんが来てくれました。芋ほりの後は、事業所へ車いすを押して送ってきてもくれました。12月にはクリスマスリース作りにご利用者を連れて参加する予定です。

三平保育園との交流に頻回となっています。特に日曜日に園児たちが事業所に遊びに来てくれる事が増えています。一緒に五平餅づくりを行い、一緒に食べたりとご利用者も園児もとても和やかで楽し笑顔あふれる時間が生まれています。

・10月20日（日）開成町一斉防災訓練について

一応、参加しました。町から安否確認と受け入れ可否の電話連絡がありました。今後、近い将来くるであろう災害に備えてさらなる連携を考えています。

・11月2日（土）令和の郷 BBQ 開催について

当日は、雨天でしたが外にテントを張り、コンロ1台を出し、室内でホットプレー

ト2台を駆使して実施しました。当日、外からの来訪者は数名のご家族の参加があったのみでしたが、ご本人もご家族も楽しい時間が過ごせた様です。普段は、小食の方もかなりたくさん食べる事が出来たようです。

今回は、吉田島高校の文化祭と日程が重なってしまった為、来年度は、日程が重ならないように設定して高校生も招待したいと思います。

- その他

10月に吉田島高校で認知症サポーター養成講座を実施した際、生徒さん達に居住地を確認したところ、開成町在住の生徒さんは1名しかいませんでした。今後、より深い地域交流を考えた場合、地元在住の若い世代とのつながりを視野に入れる必要があると考えています。そのため、中学校との交流も有効的だと思います。次回は、文命中との交流を検討したいと考えています。中学校との交流を進めるには、町の教育委員会との関係構築が重要であるため、福祉課からのアプローチも必要です。今回は役場の中野様が欠席のため、次回是非、検討を進めたいと思います。

4. 意見交換

- 要介護度が下がって元気になる方が多いと伺いましたが、何か理由があるのですか？
→特に意識して何かをしている訳ではありません。ただ、「利用者本人が活動しやすい環境を作る。」事は意識しています。例えば、本人が安心して歩ける歩行器を用意します。この歩行器なら安心して自由に動き回れることが分かれば、自ら進んで歩き出します。私たちは、転ばないように見守りつつ、基本的には放任しています。本人が自由に歩いているうちに歩行機能が改善し、体力もついてきます。時々、自身の能力を過信して転倒する事もありますが、そうしたケースは特別なことではありません。
- 年末年始などの営業（訪問）は？
→私たちは利用者の生活を支えるインフラとしての役割を担っています。そのため、年末年始やお盆なども関係なく営業し、訪問も通常通り行う体制を整えつつあります。ただし、「年末年始は、親せきなどが集まるので、訪問しなくてもよいです。」や「家族でのんびり過ごすので必要ないです。」などの連絡を頂いた場合には中止となります。
- 社協だよりの反響は？
→前回は「社協だよりを見て連絡しました。」との問い合わせが1件ありましたが、今回も同様に1件の連絡がありました。少ない件数ですが反響があるととても嬉しいです。実は、この掲載記事ですが、事業所で広告枠を購入して掲載しています。近年、新聞をとっていないご家庭が増えていますが、社協だよりは、町内全戸に配布されるため、コストパフォーマンスが非常に良い媒体と考えています。今後も数回、

「小規模多機能型居宅介護」の説明を掲載し、その後は、「令和の郷のサービス」について掲載する予定です。ネタが無くなるまでは、掲載しようと考えています。

5. 次回の開催について
令和7年1月21日（火）13時30分～予定。

6. 閉会の挨拶（池野）

以上

回 覧

事務局長	副部長	管理者	職 員